



様式第1号

令和 / 年 / 月 / 日

真庭市議会

議長 古 南 源 二 殿

真庭市議会議員

築澤敏夫

調査研究、研修会、要請・陳情活動届

政務活動費を使用して、下記のとおり研究、調査等を行いますので届けます。

記

1 区 分 調査研究 研修会 要請・陳情活動

2 訪 問 先

香川県仲多度郡まんのう町

3 内 容

第1回全国水源の里シンポジウム
(11月7日・8日)

4 行 程

別紙のとおり 自車

5 事務局から訪問先への依頼

必要

不要

参加者 前部長 初平 勝 氏 等 正 築澤敏夫

(注) 複数の議員で実施する場合、代表者の届けでよいが、参加議員名簿を添付すること。



様式第2号

報 告 書

令和 元年 11 月 28 日

真庭市議会議員 古 南 源 二 殿

報告者 真庭市議会議員 氏名 築 澤 敏 夫 (印)

同行 河部辰夫・初本勝・氏平篤正

下記のとおり政務活動費を使用して 調査研究・研修会・要請陳情活動をしましたので、その結果を報告いたします。

1	日 時	自 令和 1 年 11 月 7 日 (午前・午後) 9 時 00分 至 令和 1 年 11 月 8 日 (午前・午後) 16 時 00分
2	場 所	香川県仲多度郡まんのう町生間415-1 まんのう町町民文化ホール
3	用 件	第13回全国水源の里シンポジウム 香川県まんのう町・琴平町 地域の誇りと歴史が拓く未来 ～「関係人口」は地域に何をもたらすか～
4	概 要	第13回水源の里シンポジウムでは、地域の誇りと歴史が拓く未来～「関係人口」は地域に何をもたらすか～を開催テーマとして、政府の第2期地方創生のキーワードになった「関係人口」に焦点を当て、条例不利地域での活力づくりに向けた取り組みについて、多様な「関わりしろ」の視点から、流域連携のさらなる可能性について議論を深める。



報告書（継紙）

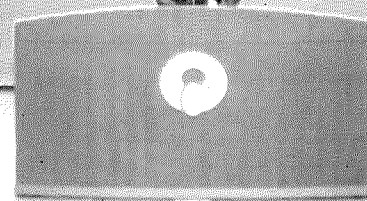
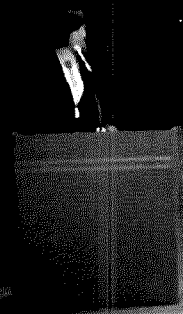
シンポジウム	
開会式典	
開会宣言	まんのう町長
来賓挨拶	後援者
フोटオエッセスト表彰と日本写真書作権協会会長講評と表彰	
基 調 講 演	
「関係人口」は地域に何をもたらすか	
講 師	田 中 輝 美 氏（ローカルジャーナリスト）
パネルディスカッション	
コーディネーター	田 中 太 郎 氏(徳島大学大学院准教授
	まんのう町で集落調査や住民主導による地域
	活性化の取り組み支援している。
パネリスト	田 中 輝 美氏(ローカルジャーナリスト)
	島根県に暮らし地域のニュースを記録・発信
パネリスト	佐 藤 理 恵 氏(法人ねりやかなや代表理事)
	まんのう町出身奄美群島において、状況の打開
	空き家や・空地の活用策を模索中、2地域暮らし。
パネリスト	横 井 英 生 氏(未来会議転出子懇談会)
	地域の転出子たちが課題を検討する「転出子懇
	談会に参加身の丈に合った地域サポート検索。
パネリスト	山 崎 智 久 氏(協力隊「チーム縁の下」)
	地域おこし協力隊の一環会のまちづくり活動に
	取り組む、塾の講師としてムササヒ観察会開催
大会アピール 積極的に持続的展開、活性化、水源の里を引き継ぐアピール	
閉会式	
交流会 ことひら温泉琴参閣	
2日目 現地研	
ひまわりでまちおこしコース満濃池・森林公園・さくさん会館見学。	

報告書（継紙）

基調講演	「関係人口」は地域に何をもたらすか
講 師	田 中 輝 美 氏（ローカルジャーナリスト）
	島根県生まれ、大阪大学卒業後島根県の地方紙に入社15年間記者勤務 14年退社し独立。島根県に暮らしながら、地域のニュースを記録・発信 するフリー「ローカルジャーナリスト」として活躍。「関係人口」研究 している、経験談を参考に本日講演された。
	人口減少地域を救う、新しいキーワードは「関係人口」だ 関係人口こそが、本格的な人口減少時代を迎えた日本社会を救う新しい 考え方であり、地方の新しい戦略になり、関係人口という考えが広まる ことで、社会がより良くなる。これまでは、地域を元気にするために、 その地域に住む「定住人口」を増やすか、短期的に訪れる「交流人口」 を増やすか、最近特に定住人口増やす競争、しかし、人口減る中でダメ たとえ住んでいなくても、地域を元気にしたいと思って実際に地域を 応援し、関わる仲間が増えれば、地域が元気になる。多様に関わる人々 仲間こそが、関係人口です。社会的インパクトを、ヒト・モノ・カネ 3要素に、アイデアを加えたものなる。では、関係人口を新たに増やす。 「関係案内書」を提唱しています、地域の面白し人やその人に出会える 案内する機能を果たす場所、関係人口づくりをお手伝いする場所。 関係人口という例を10連発紹介①お試しプチ移住②二地域居住③同じ 地方に何度も通う④地方でイベントを開催⑤地方での連続講座を遠隔 で受講⑥東京にしながら地方の企業とお仕事⑦地方企業の東京支社で 働く⑧東京と地方を食でつなぐ⑨東京で地方を考えるイベントを開く ⑩旅と移住の間を考える研究会をつくる。東京で開講しています。 関係人口をつくる5つのポイント、1 関係案内所を設ける2、入口を広 く3、役割を提示する、4自分ごとにする、5、人につなぐ(信頼ネット) 以上が、関係人口をこれからつくろうと考えている人たちにとって 参考にと考えています。 基本スタンス「移住、定住をゴールにしない」ということです。

第13回 全国水源の里シンポジウム

In まんのう町・琴平町



転出子懇談会による 地域サポートの取組

～まんのう町川尻地区での地域サポートの実態～



